

【報告 1】

令和 6 年度事業報告

令和 6 年度の事業計画は、コロナ禍後の労働環境の変化（人手不足、後継者問題、離職率の高さなど）や健康志向の高まりを背景に、今後の福利厚生を「生活支援型（衣食住遊）」から、人への投資を重視する「リスク支援型」へ転換することを提案し、事業主にも受け入れられる形を目指しました。

この方針のもと、継続事業では、業務運営研修会、実務担当者研修会、東西ブロック会議を通じて、従業員が安心して働ける職場づくりを支援する福利厚生をさらに充実させ、事業主が抱える経営課題の解決に役立つ福利厚生についても議論しました。その結果、「リスク支援型」福利厚生への転換に理解が深まりました。さらに、サービスセンター（以下「SC」）主催のブロック協議会や県単位の会議では、情報提供を通じて理解の浸透と連携の強化に努めました。

推進事業では、既存事業をスクラップ&ビルドしながら、長い職業生活で直面するリスクを予防・回避し、損失補填を支援する健康支援、介護支援、自己啓発・リスクリング支援などの事業を提供し、利用促進に努めました。

ネットワークの拡充では、加入勧奨活動の成果により新規会員を獲得した一方で、サービスセンター事業を廃止する団体への対応において転機となりました。

1. 継続事業

(1) SC 支援事業

① 研修会

〔業務運営研修会〕

日 時 令和 6 年 7 月 9 日（火） 13 時 30 分～15 時 30 分

場 所 オンライン研修（全福センター会議室）

出 席 94 団体 100 名

基調講演 安心が求められる時代の中小企業勤労者福利厚生サービス事業

〔実務担当者研修会（東京会場）〕

日 時 令和 6 年 9 月 6 日（金） 13 時 30 分～16 時

場 所 仏教伝道協会 BDK 会議室 8 階「和」の間（対面研修会）

出 席 39 団体 41 名

基調講演 従業員が安心して生き生きと働く職場づくりのために

意見交換 安心して働く職場づくりに役立つ福利厚生について

〔実務担当者研修会（大阪会場）〕

日 時 令和 6 年 9 月 12 日（木） 13 時 30 分～16 時

場 所 大阪産業創造館 5 階「会議室 A・B」（対面研修会）

出 席 32 団体 39 名

基調講演 従業員が安心して生き生きと働く職場づくりのために

意見交換 安心して働く職場づくりに役立つ福利厚生について

[おすすめ事業オンラインセミナー]

- セミナーⅠ SCにおけるDX推進とHPについて
日 時 令和6年12月12日(木) 10時30分～11時30分
出 席 39団体49名
- セミナーⅡ 全福センター加盟団体限定プラン(全福プラスワン)について
日 時 令和6年12月12日(木) 13時30分～14時30分
出 席 20団体24名
- セミナーⅢ WEB申込み・クーポンコード活用(スマホチケット・GICパスポート)
日 時 令和6年12月12日(木) 15時30分～16時30分
出 席 36団体46名
- セミナーⅣ 全福ネット慶弔共済保険加入メリットについて
日 時 令和6年12月13日(金) 10時30分～11時30分
出 席 18団体22名
- セミナーⅤ 全福ネットワンコイン労災について
日 時 令和6年12月13日(金) 13時30分～14時30分
出 席 15団体16名
- セミナーⅥ 全福ネットの保険(新規補償)について
日 時 令和6年12月13日(金) 15時30分～16時30分
出 席 15団体21名

② 東西ブロック会議

[令和6年度 東ブロック会議]

- 日 時 令和6年10月10日(木) 11日(金)
場 所 ホテルメトロポリタン山形、やまぎん県民ホール
共 催 (一社)山形勤労者福祉サービスセンター
出 席 66団体101名
基調講演 中小企業を取り巻く労働環境の変化とこれからの福利厚生
事例発表 ワークジョイさいたまが目指すサービスの進化と価値創造
意見交換 これからの福利厚生事業の在り方(活気ある職場づくりをサポート)

[令和6年度 西ブロック会議]

- 日 時 令和6年11月7日(木) 8日(金)
場 所 ザ クラウンパレス新阪急高知、高知県立県民ホール
共 催 (公財)高知勤労者福祉サービスセンター
出 席 62団体103名
基調講演 中小企業を取り巻く労働環境の変化とこれからの福利厚生
事例発表 ワークジョイさいたまが目指すサービスの進化と価値創造
意見交換 これからの福利厚生事業の在り方(活気ある職場づくりをサポート)

[令和7年度 東ブロック会議] 準備

- 日 時 令和7年10月9日(木) 10日(金)
場 所 ANAクラウンプラザホテル新潟

共催 (公財)新潟市勤労者福祉サービスセンター

表敬訪問 新潟県、新潟市(令和6年11月)

[令和7年度西ブロック会議]準備

日時 令和7年11月13日(木)14日(金)

場所 神戸三宮 東急REIホテル、神戸国際会館セミナーハウス

共催 (公財)神戸いきいき勤労財団 神戸市勤労者福祉共済

表敬訪問 兵庫県、神戸市(令和6年2月)

[令和8年度東西ブロック会議]準備

東ブロック会議 (一財)盛岡市勤労者福祉サービスセンター

西ブロック会議 (一財)大垣勤労者福祉サービスセンター

③ 各種相談対応

[会計税務相談(オンライン相談)]

相談件数 4件3団体 飯田、近江八幡地域2件、鳥取市

[法律相談]

相談件数 2件2団体 相模原市、静岡市

④ 調査、情報提供

[定期調査・情報提供]

全福センター事業案内(2024年版)発行 4月

全国会員団体概要(2024年デジタル版)発行 7月

統計資料(基本データ編)HP掲載 7月

統計資料(属性別データ編)HP掲載 8月

全福センターだより(会報)発行 4月・7月・10月(デジタル版)、1月(冊子)

ぷくぷくマガジン(メルマガ)発行 毎月15日

[アンケート調査]

加入推進員実態調査 8月

[調査協力]

(株)日本総合研究所(中小企業の福利厚生施策の実態) 10月

(株)三菱総合研究所(中小企業の福利厚生施策の実態) 3月

⑤ SC事業の広報活動

[国、自治体関係先への訪問活動]

厚生労働省(雇用環境・均等局)情報交換 4月

太田市(産業環境部)情報交換 8月

東久留米市(市民部産業振興課) 10月

西東京市(市民部産業政策課) 10月

東伊豆町(広域化) 1月

(2) ブロック協議会

① 全国コーディネーター会議

〔第一回会議〕

日 時 令和6年4月19日（金） 13時30分～16時30分
場 所 全福センター会議室（対面会議）
出 席 8団体8名、全福7名
議 事 コーディネーター委嘱、役割、令和6年度活動方針と活動計画など

〔第二回会議〕

日 時 令和6年10月23日（水） 13時45分～15時25分
場 所 全福センター会議室（オンライン会議）
出 席 8団体8名、全福7名
議 事 上期活動報告、下期活動計画、協議会の活性化、全福センターへ要望など

〔第三回会議〕

日 時 令和7年3月12日（水） 13時30分～15時15分
場 所 全福センター会議室（オンライン会議）
出 席 8団体8名、全福6名
議 事 下期活動報告、活動を振り返って、令和7年度運営体制など

② ブロック協議会

対面22件（前年22件）、ハイブリッド10件（前年9件）、オンライン4件（前年1件）、書面0件（前年1件）

〔北海道ブロック協議会〕

第一回幹事会

日 時 令和6年7月2日（火） 14時30分～17時00分
場 所 ホテルポールスター札幌 会議室（対面会議） 札幌市
出 席 10団体11名、陪席1団体1名（札幌市）、全福1名
議 事 実務担当者研修会、幹事会日程、共同化事業、意見交換など

実務担当者研修会

日 時 令和6年10月17日（木） 14時45分～17時20分
場 所 ソネビル 会議室（対面会議） 帯広市
出 席 7団体8名
内 容 プレゼント企画、経費削減策、新規会員獲得など情報交換

第二回幹事会

日 時 令和6年11月19日（火） 14時30分～17時
場 所 ホテルポールスター札幌 会議室（対面会議） 札幌市
出 席 9団体9名、陪席1団体1名（札幌市）、全福1名
議 事 実務担当者研修会、幹事会日程、事業計画、役員体制など

第三回幹事会

日 時 令和7年3月25日（火） 14時30分～17時
場 所 ホテルポールスター札幌 会議室（対面会議） 札幌市
出 席 6団体6名、陪席1団体1名（札幌市）
議 事 令和7年度活動方針・計画、役員体制、実務担当者研修会など

[東北ブロック協議会]

第一回協議会

日 時 令和6年6月21日(金) 13時30分～16時30分
場 所 仙台市戦災復興記念館 会議室(ハイブリッド会議) 仙台市
出 席 11団体13名(内オンライン2団体2名)、全福1名
議 事 運営方針・活動計画、共同事業、実務担当者研修会、情報交換など

実務担当者研修会

日 時 1日目 令和6年10月24日(木) 13時20分～16時30分
2日目 令和6年10月25日(金) 9時00分～11時30分
場 所 1日目 いわき産業創造館 IT研修室(対面研修会) いわき市
2日目 いわきFCパーク いわき市
出 席 11団体17名、全福1名
内 容 1日目 資産形成セミナー
2日目 ブランディングとマーケティングについて

第二回協議会

日 時 令和7年3月14日(金) 13時30分～16時30分
場 所 仙台市戦災復興記念館 会議室(ハイブリッド会議) 仙台市
出 席 13団体15名(内オンライン4団体4名)、全福1名(オンライン)
議 事 活動報告、コーディネーター会議報告、令和7年度役員体制など

[関東ブロック協議会]

第一回代表委員会

日 時 令和6年7月5日(金) 13時30分～14時50分
場 所 全福センター 会議室(対面会議) 港区
出 席 9団体10名、全福5名
議 事 運営方針、各地区の活動計画・課題、情報交換など

実務研修会企画運営委員会

日 時 令和6年7月5日(金) 14時50分～15時30分
場 所 全福センター 会議室(対面会議) 港区
出 席 5団体5名、全福3名
議 事 運営委員会設置要綱、研修会実施要項、開催準備スケジュールなど

第IV地区運営委員会

日 時 令和6年7月19日(金) 14時～16時
場 所 熊谷市立勤労会館 会議室(対面会議) 熊谷市
出 席 10団体12名、全福2名
議 事 運営方針、活動計画・課題、実務研修会、情報交換など

第V地区運営委員会

日 時 令和6年7月25日(木) 13時30分～15時10分
場 所 まちなか交流プラザ 会議室(対面会議) 鹿沼市
出 席 7団体16名、全福2名

議 事 活動計画・課題、会員拡大、デジタル化対応、情報交換など

第Ⅲ地区運営委員会

日 時 令和6年8月23日（金）15時～17時

場 所 座間市商工会館 会議室（対面会議） 座間市

出 席 8団体8名、全福2名、オブザーバー1団体1名（友愛共済）

議 事 活動計画、実務担当者研修会、活動計画と課題、意見交換など

実務研修会企画運営委員会

日 時 令和6年9月9日（月）14時～14時40分

場 所 全福センター 会議室（オンライン会議） 大里地域

出 席 5団体6名、全福3名

議 事 アンケート結果、開催内容、開催日程など

第Ⅰ地区運営委員会

日 時 令和6年9月10日（火）14時30分～17時

場 所 豊島区立舞台芸術交流センター 会議室（対面会議） 豊島区

出 席 12団体16名、全福1名

議 事 代表委員会報告、実務担当者研修会、アンケートに基づく意見交換など

第Ⅱ地区運営委員会

日 時 令和6年11月29日（金）14時～15時30分

場 所 全福センター 会議室（オンライン会議） 国分寺市

出 席 12団体12名、全福1名

議 事 代表委員会報告、コーディネーター会議報告、意見交換など

実務研修会

日 時 令和7年1月22日（水）13時30分～16時

場 所 仏教伝道協会 会議室（ハイブリッド研修会） 港区

出 席 31団体32名（内オンライン8団体8名、全福4名）

内 容 サービスセンターにおけるDXの進め方、災害時の備えなど

第二回代表委員会

日 時 令和7年3月13日（木）13時30分～15時

場 所 全福センター 会議室（ハイブリッド会議） 港区

出 席 7団体7名、全3名（内オンライン1名）

議 事 令和7年度運営方針、代表委員会案および日程など

第Ⅲ地区運営委員会

日 時 令和7年3月24日（月）15時30分～17時

場 所 座間市商工会館 会議室（対面会議） 座間市

出 席 7団体7名、全福1名

議 事 代表委員会報告、コーディネーター会議報告、意見交換など

第Ⅴ地区運営委員会

日 時 令和7年3月27日（木）13時30分～15時30分

場 所 まちなか交流プラザ 会議室（対面会議） 鹿沼市

出席 7団体13名、全福1名
議事 代表委員会報告、コーディネーター会議報告、意見交換など

〔信越・北陸ブロック協議会〕

第一回運営委員会

日時 令和6年7月12日（金）14時～16時15分
場所 金沢勤労者プラザ 研修室（対面会議） 金沢市
出席 12団体14名、全福1名
議事 会計報告、実務担当者研修会、サービスセンターの状況、情報交換など

実務担当者研修会

日時 令和6年11月15日（金）13時30分～16時
場所 金沢勤労者プラザ ミーティングルーム（ハイブリッド会議） 金沢市
出席 11団体16名（内オンライン4団体4名）、全福2名（オンライン1名）
内容 サービスセンターにおけるDXの進め方、意見交換など

第二回運営委員会

日時 令和7年2月14日（金）14時～16時
場所 金沢勤労者プラザ 研修室（ハイブリッド会議） 金沢市
出席 11団体13名（内オンライン5団体6名）、全福1名
議事 令和7年度役員・運営方針・スケジュール・会計、意見交換など

〔東海ブロック協議会〕

静岡県運営委員会

日時 令和6年7月19日（金）14時30分～17時15分
場所 静岡市産学交流センター 演習室（対面会議） 静岡市
出席 14団体14名、全福1名
議事 運営方針・活動計画、地区別運営委員会の進め方、連携事業の取組みなど

東海三県運営委員会

日時 令和6年7月26日（金）13時30分～16時30分
場所 東海市芸術劇場 会議室（対面会議） 東海市
出席 9団体10名、全福1名
議事 運営方針・活動計画、地区別運営委員会の進め方、共同事業の取組みなど

第一回幹事会

日時 令和6年12月6日（金）13時～15時
場所 静岡県教育会館 会議室（対面会議） 静岡市
出席 8団体9名、全福1名
議事 上期活動報告、下期活動方針、事業計画、協議会新体制についてなど

事務担当者会議

日時 令和7年1月24日（金）14時～16時
場所 東海市芸術劇場 リハーサル室（対面会議） 東海市
出席 19団体25名、全福1名
内容 ちたまる Navi の取組み、せっかく TOKAI について、SC課題など

全体運営委員会

日 時 令和7年2月14日（金）13時50分～16時
場 所 静岡商工会議所 静岡事務所会館 会議室（対面会議） 静岡市
出 席 18団体19名、全福1名
議 事 令和7年度運営方針・活動計画、事務担当者会議報告、連携事業など

[近畿ブロック協議会]

第一回代表者委員会

日 時 令和6年5月15日（水）15時30分～16時15分
場 所 平野コミュニティセンター 会議室（ハイブリット会議） 大津市
出 席 10団体12名（内オンライン1団体1名）、陪席1団体1名、全福1名
議 事 活動方針、共同化事業、全体研修会、情報交換など

全体研修会

日 時 令和6年7月24日（木）14時～16時
場 所 滋賀県立県民交流センター 会議室（ハイブリッド研修会） 大津市
出 席 28団体36名（内オンライン12団体17名）、全福1名
議 事 入退会および給付金WEB申請と共福システムの連携（ユニテック講演）

第二回代表者委員会

日 時 令和6年11月18日（月）15時30分～16時15分
場 所 平野コミュニティセンター 会議室（ハイブリット会議） 大津市
出 席 10団体12名（内オンライン1団体1名）、陪席1団体1名
内 容 活動方針、共同化事業、全体研修会、情報交換など

第三回代表者委員会

日 時 令和7年3月25日（火）13時50分～16時15分
場 所 滋賀県立県民交流センター 会議室（対面会議） 大津市
出 席 10団体11名、陪席2団体2名、全福1名
議 事 共同事業報告、令和7年度役員体制と活動方針、情報交換など

[中・四国ブロック協議会]

第一回運営委員会

日 時 令和6年6月20日（木）14時～16時30分
場 所 米子市文化ホール 展示室（対面会議） 米子市
出 席 11団体12名、全福1名
議 事 活動方針、会議実施方法、共同化事業、実務担当者研修会、規約改正など

加入推進員交流研修会

日 時 令和6年11月14日（木）13時30分～15時10分
場 所 全福センター 会議室（オンライン研修会） 米子市
出 席 15団体24名、全福1名、オブザーバー1団体2名（友愛共済）
内 容 加入推進員活動報告講演、情報交換、ワンコイン労災の活用講演など

第二回運営委員会

日 時 令和7年2月13日（木）14時～16時15分

場 所 倉敷市男女共同参画推進センター 会議室（対面会議） 倉敷市
出 席 13団体15名、全福1名
議 事 ボウリング大会結果、令和7年度運営方針、年間計画、役員選出など
〔九州・沖縄ブロック協議会〕

地区定例会および第一回事業委員会

日 時 令和6年10月4日（金）13時30分～17時
場 所 ソレイユ 会議室（ハイブリッド会議） 大分市
出 席 12団体23名（内オンライン1団体1名）、全福1名
議 事 活動方針、提案議題協議、実務担当者研修会、全福役員選任など
実務担当者研修会

日 時 令和6年12月24日（火）14時～16時
場 所 全福センター 会議室（オンライン研修会） 大分市
出 席 11団体13名、講師1名、全福1名
内 容 三方良しのコミュニケーションスキル

③ 県単位、地域単位の会議、研修会

情報提供を通じて、連携の強化に努めました。

| | |
|--------------------|------------|
| 東京都市勤労者共済団体連合会定期総会 | （5月 立川市） |
| 静岡県中部ブロック事務局長会議 | （6月 藤枝市） |
| 静岡県西部ブロック共済団体連絡会議 | （6月 磐田市） |
| 静岡県東部地区事務担当者会議 | （7月 富士市） |
| 全道勤労者共済会連絡協議会 | （9月 名寄市） |
| 静岡県連合会事務担当者会議 | （9月 静岡市） |
| 指定都市中小企業福祉共済団体連絡会議 | （10月 神戸市） |
| 千葉県勤労者福祉共済団体連絡会 | （10月 市川市） |
| 9市&大阪府下共済会議 | （11月 泉佐野市） |
| 静岡県西部地区事務局長会議 | （1月 磐田市） |
| 静岡県東部地区事務局長会議 | （1月 熱海市） |
| 静岡県東部地区事務担当者会議 | （2月 御殿場市） |

2. 推進事業

既存事業の見直し、「リスク支援型」福利厚生 of 充実とその利用促進に努めました。

「全福ネットの保険」では、SC退会後の長期サポート体制を整備したことにより、全国中小企業勤労者福祉共済会への入会者が増加し、一定の成果を上げることができました。また、新たに導入した「所得補償」の加入者も順調に増加しています。来年度は「個人賠償責任補償」の提供を開始し、リスクに備える補償制度のさらなる充実を図ります。一方で、中小企業事業主の経営リスクを軽減するための労災上乘せ補償「全福ネットワンコイン労災」および「傷害共済」は伸び悩んでいます。このため、「友愛だより」の定期配信の開始やオンラインセミナーの実施を通じて、労災に関する理解促進と利用促進に努めました。また、慶弔共済保険の死亡給付金を補完する「生命共済」を導入する団体が順調に増加しており、会員SCのリスク支援

型福利厚生への取り組みが定着しつつあります。

業務効率化支援事業では、郵便料金の値上げ報道を契機に、業務のDX化策としてジックZを利用したWEB申し込み「スマホチケット」の関心が高まり、多くのSCと個別相談を実施しました。

共同事業では、安定した収益構造への転換を目指し、利用頻度や収益性の低い事業の見直しを進める一方で、環境に左右されないストック事業の強化に取り組みましたが、収益力の回復には至りませんでした。

(1) 共済事業および共済を補完する事業

①「全福ネット慶弔共済保険」(全労済協会)

共済保険部からの「お知らせ(実務に関する情報)」未読団体の解消に向けて、メルマガの受信を働きかけ、現在142団体中128団体にまで普及させました。

[お知らせ]

- 第五号 傷病休業保険金の請求手続きについて
- 第六号 就学祝金や勤続祝金の請求、死亡診断書の読み方について
- 第七号 保険金請求書提出前の点検・確認について(慶弔見舞金保障編)
- 第八号 保険金請求書提出前の点検・確認について(本人財産保障編)
- 第九号 保険金請求書提出前の点検・確認について(本人保障編①)
- 第十号 保険金請求書提出前の点検・確認について(本人保障編②)

[オンライン研修会]

静岡県福祉共済団体連合会事務担当者研修会 9月(静岡市)
13団体19名、講師1名(全労済協会オンライン)、全福1名

②「全福ネットあんしん労災(全福ワンコイン労災)」(友愛共済協同組合)

労働災害に関する理解を深めていただくため、「友愛だより」の定期配信を開始しました。

[友愛だより]

- 第一号 業務上災害「政府労災保険だけでは足りません」
- 第二号 高齢者の労災目立つ
- 第三号 労働災害と政府労災保険とは
- 第四号 労働災害と最近の時代背景「労災上乘せ共済が必要なわけ」
- 第五号 労災事故と訴訟
- 第六号 企業保障(労災補償・業務外補償)の現状
- 第七号 全福ワンコイン労災「補償内容と給付金額」

[契約実績]

| | | |
|-------|------|-------------|
| 事業所 | 53社 | 431名、1,113口 |
| S C | 31団体 | 156名、237口 |
| 計 | 84社 | 587名、1,350口 |
| 加入S C | 31団体 | |

旭川市、室蘭市、釧路市、とちろ、北見市、苫小牧市、士別、盛岡市、いわき市、葛飾区、稲城市、甲府市、諏訪湖、更埴地域、静岡市、島田榛北、富士市、焼津市、

藤枝市、榛南地区、岡崎幸田、湖北地域、東近江地区、草津市、島根県東部、
島根県西部、くれ、玉野、高知、大分県北部、全福

③「全福ネットあんしん傷害共済（全福ワンコイン傷害共済）」（友愛共済協同組合）

労働災害に関する理解を深めていただくため、「友愛だより」の定期配信を開始しました。

〔契約実績〕

事業所 24社、24名、41口

事業所が所属するSC 17団体

旭川市、北見市、仙台、いわき市、目黒区、東京広域、練馬区、品川区、八王子市、
三鷹市、川崎市、長野市、榛南地区、沼津市・清水町、大阪市、中讃、熊本市

④「全福ネットの保険」（東京海上日動火災保険）

全国中小企業勤労者福祉共済会を受入れ先とする長期サポート体制が整い、28名の会員
受入れました。また、「所得補償」は28件と順調な滑り出しです。

〔契約実績〕

医療補償 2,643件

がん補償 397件

一時金払介護補償 345件

年金払介護補償 67件

所得補償 28件（新規）

合計 3,480件（純増28件）

⑤「生命共済（全福ネットあんしん生命共済）」（友愛共済協同組合）

上期に4団体、下期に2団体が取扱いを開始し、累計で25団体となりました。

〔令和6年4月1日補償開始SC〕4団体

横手市 愛称「ほっとわーく生命共済」

渋谷区 愛称「きんぷく生命共済」

甲賀湖南 愛称「KOKOワーク生命共済」

神戸市 愛称「ハッピーパック生命共済」

〔令和6年10月1日補償開始〕2団体

長岡市 愛称「ナッキー生命共済」

長野市 愛称「ユメワーク長野生命共済」

さらに、令和7年度期首には6団体が取扱いを開始し、累計31団体になります。

〔令和7年4月1日補償開始SC〕6団体

中央区 愛称「レッツ中央生命共済」

上越 愛称「さくちゃん生命共済」

静岡市 愛称「ジョイブ静岡生命共済」

堺市 愛称「SCK生命共済」

高知 愛称「クンペルこうち生命共済」

全中済 愛称「ウエルとも倶楽部」

既補償開始団体 19団体

〔令和4年度〕6団体 苫小牧市、稲城市、湘南、相模原市、厚木市、伊東市

[令和5年度] 13 団体 室蘭市、仙台、ひたちなか市、両毛地区、鹿沼市、小山市、
千葉市、野田市、船橋市、富士市、岡崎幸田、八尾市、兵庫県

(2) 会員サービス事業

① 「全福ネット福利厚生事業（全福プラスワン）」（リロクラブ）

令和7年度期首には2団体が取扱いを開始し、累計11団体になります。

[契約実績] 2 団体

西東京市 愛称「ゆうゆう西東京」

全中済 愛称「ウェルとも倶楽部」

既利用団体 9 団体

栃木市、鹿沼市、葛飾区、三重中勢、伊勢地域、池田市、倉敷市、くれ、中讃

② 「共同購入事業」及び「新規事業」

利用頻度および収益性の低い事業を見直す一方で、新規事業の拡大に取り組みました。

生活支援型事業（衣食住遊）

MTS（職域）ショッピング、スマホ郵送修理、ストーンミュージアムなど

健康支援事業

腸内フローラ検査、ALSOK健康相談など

介護支援事業

ダスキン家事代行サービス（ライフケア）

自己啓発・リスクリング支援事業

ユーキャンeラーニング研修講座

災害への備え事業

美味しい防災食、日本ハム防災食など

(3) SC業務効率化支援業務

SC事業の業務変革のためのDX相談を今年度も継続しており、その結果、当センターが提供するシステムを採用する団体が増加しています。

① 「SCのDX支援」

SC事業、業務の変革をサポートするDX相談に積極的に関わりました。

[DX相談]

システム全体 4 団体 長岡市、羽曳野市、東近江地域、玉野

HP 4 団体 板橋区、松本市、寝屋川市、鳥取市

ジックZ 13 団体 郡山市、鹿沼市、長岡市、中津川・恵那地域、静岡市、
熱海市、浜松市、小笠掛川、大垣、東近江地域、守山野洲
栗東市、奈良市

② 「会員管理システム（共福システム-connect）」（ユニテック）

[共福システムユーザーによる情報交換会]

当システムのユーザーを対象に、システム改善のためのニーズ把握を目的とした情報交換を行いました。

| | | | |
|-----|------------|---------|---------|
| 第一回 | 令和6年11月21日 | 10時～11時 | 11団体13名 |
| 第二回 | 令和6年11月21日 | 14時～15時 | 9団体10名 |
| 第三回 | 令和6年11月27日 | 10時～11時 | 8団体11名 |
| 第四回 | 令和6年11月27日 | 14時～15時 | 4団体 5名 |

[-connect-移行サポート]

累計50団体の移行が完了しました。

[-connect-導入サポート（オンラインサポート）]

新たに1団体の取扱いが決まり累計54団体の利用に広がりました。

上期導入 1団体 新宿区

③「オールインワンHPパッケージシステム」（グレートインフォメーション）

〔HP導入サポート（オンラインサポート）〕

1団体が解約、新たに7団体の取扱いが決まり、累計80団体の利用に広がりました。

上期導入 4団体 新宿区、目黒区、新発田市、大垣

下期導入 3団体 松本市、板橋区、寝屋川市

解約 1団体 甲賀湖南

〔ジックHP（簡易版）〕

新たに1団体の取扱いが決まりました。

上期導入 1団体 守口市門真市

④「スマホチケット」体験の実施

ジックZを利用したWEB申込み「スマホチケット」体験を、主催会議などで実施しました。参加証を取得した受付体験者は以下の通りとなりました。

〔体験企画〕

| | |
|--------------|--------------------|
| 定時総会 | 56名（内全福10名、GIC社4名） |
| 実務担当者研修会（東京） | 44名（内全福9名） |
| 実務担当者研修会（大阪） | 40名（内全福3名） |
| 東ブロック会議（山形市） | 48名（内全福5名） |
| 西ブロック会議（高知市） | 54名（内全福5名） |

(4) 推進事業実績表

| 事業内容 | | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年3月31日現在 | |
|--------------------|----------------------------------|-----------------------------|--|---|----------------------------|
| 事業内容 | | 令和5年度 | 令和6年度 | 備 考 | |
| 共済事業 | 全福ネット慶弔共済保険 | 141団体 | 142団体 | 〔新規〕1団体 須坂市 〔解約〕なし | |
| | 中小企業退職金制度 | 151団体 | 152団体 | 〔新規〕1団体 渋谷区 〔解約〕なし | |
| | 小規模企業共済 | 42団体 | 44団体 | 〔新規〕2団体 旭川市、鹿沼市 〔解約〕なし | |
| | 経営セーフティ共済 | 7団体 | 7団体 | 〔新規〕なし 〔解約〕なし | |
| | 全福ネットあんしん労災 (政府労災上乗せ ワンコイン労災) | 88社 621名 1,535口 | 84社 587名 1,350口 | 〔会員事業所〕 53社 〔会員SC+全福〕31団体 旭川市、室蘭市、釧路市、とから、北見市、苫小牧市、士別、盛岡市、いわき市、葛飾区、稲城市、甲府市、諏訪湖、更埴地域、静岡市、島田樺北、富士市、焼津市、藤枝市、榛南地区、岡崎幸田、湖北地域、東近江地区、草津市、島根県東部、島根県西部、くれ、玉野、高知、大分県北部、全福 | |
| | 全福ネットあんしん傷害共済 (ワンコイン傷害共済) | 21事業所21名 41口 | 24事業所24名 41口 | 一人親方、個人事業主向け(労災に代わる補償) 〔加入事業所所属SC〕17団体 旭川市、北見市、仙台、いわき市、目黒区、東京広域、練馬区、品川区、八王子市、三鷹市、川崎市、長野市、榛南地区、沼津市・清水町、大阪市、中讃、熊本市 | |
| | 生命共済 (全福ネットあんしん生命共済) | 19団体 | 25団体 | 〔新規〕6団体 横手市、渋谷区、長岡市、長野市、甲賀湖南、神戸市 〔解約〕なし | |
| 共済補完事業 | 全福ネットの保険 (医療・がん・介護・所得補償) | 183団体 3,452件 (純増107件) | 184団体 3,480件 (純増28件) | 〔新規〕1団体 上田 〔解約〕なし 内数：〔がん補償〕397件〔一時金払介護補償〕345件 〔認知症アシスト付年金払介護補償〕67件〔所得補償〕28件 | |
| | 全福ネットガイドブック(制作部数) | 25,000冊 | 23,000冊 | 全国版冊子(加入促進用、SC新会員配布用) | |
| | | 全福プラスワン (リロクラブ提携) | 9団体 | 11団体 | 〔新規〕2団体 西東京市、全中済 〔解約〕なし |
| 会員サービス事業 | 全福市場(プラットフォーム利用) | | | 「物資斡旋事業利用」6団体 鹿沼市、目黒区、上越、高岡市、岡崎幸田、和歌山市 「地域おこし利用」1団体 鹿沼市 | |
| | 共同購入事業 | 家庭常備薬 | 90団体 | 72団体 | 新型コロナ5類移行、ドラッグストア、ネット購入の台頭 |
| | | 非常食(アルファ米) | 16団体 | 28団体 | 防災商品トイレ 38団体 |
| 新規 | 全国的サービス | | | ベッセルホテルズ、東京ベイ舞浜ホテルファーストリゾート、HMIホテルグループ(再契約)、ストーンミュージアム、JOYPOLISSPORTS北九州イノベーションセンター店、腸内フローラ検査、職域専用MTSショッピングサイト、スマホ修理工房郵送修理など | |
| 基本業務 | 会員管理システム(共福システム) | 53団体 | 54団体 | 〔新規〕1団体 新宿区 〔解約〕なし | |
| | | (ｸﾞﾗﾌﾞ45団体) | (ｸﾞﾗﾌﾞ49団体) | 〔CONNECT移行〕50団体 | |
| | 会員証の共同制作 | 13団体 | 8団体 | | |
| | | 16,900枚 | 26,350枚 | | |
| オールインワンHPパッケージシステム | 74団体 | 80団体 | 〔新規〕7団体 新宿区、目黒区、板橋区、新発田市、松本市、大垣、寝屋川市 〔解約〕1団体 甲賀湖南 | | |
| クラウド型ファイルサーバー | 6団体 | 6団体 | 〔新規〕なし 〔解約〕なし | | |

3. ネットワークの拡充

(1) 会員拡大

① 一号会員（正会員）

当センターの会員ではない66団体に対し、7月に加入を勧奨しました。毎年実施する加入勧奨の結果、令和6年度には3団体が新規加入しました。

〔令和6年4月1日入会〕（入会申込時の会員数）

長野県 須坂市勤労者互助会 171事業所、1,339名
 大阪府 (一財) 守口市門真市勤労者互助会 147事業所、1,084名

〔令和6年9月1日入会〕（入会申込時の会員数）

長野県 上田勤労者互助会 306事業所、3,230名

| | | | | 令和7年3月31日現在 | | |
|-------------------|--------|--------|--|-------------|--------|-------|
| 会員の種類 | 令和6年度末 | 令和5年度末 | 備 考 | | | |
| 一号会員 | 205 団体 | 202 団体 | 〔加入〕3 団体 須坂市勤労者互助会、(一財) 守口市門真市勤労者互助会 上田勤労者互助会 〔退会〕0 団体 | | | |
| 二号会員 | 約122万人 | 約121万人 | | | | |
| 賛助会員 | 20 団体 | 20 団体 | 〔加入〕0 団体 〔退会〕0 団体 | | | |
| 一号会員の法人形態（205 団体） | | | | | 設立方式 | |
| 公益財団法人 | 公益社団法人 | 一般財団法人 | 一般社団法人 | 市直・任意団体 | 単独設立 | 広域設立 |
| 57 団体 | 3 団体 | 59 団体 | 10 団体 | 76 団体 | 143 団体 | 62 団体 |

一方で、財政的理由や運営主体の変更により事業を廃止（解散）する団体からの報告を受けています。

〔令和7年3月31日解散（令和7年4月1日退会）〕（令和6年4月の団体概要調査に基づく会員数）

東京都 西東京市勤労者福祉サービスセンター 282事業所、1,198名
 東京都 東久留米市勤労市民共済会 396事業所、1,219名
 神奈川県 (公財) 横須賀市産業振興財団

三浦半島中小企業勤労者福祉サービスセンター 164事業所、1,474名

〔令和7年5月31日解散（令和7年6月1日退会）〕（令和6年4月の団体概要調査に基づく会員数）

山口県 (一社) 山口県勤労者福祉共済会 1,738事業所、12,955名

会員動向では、令和7年度の期首から運営主体が変わる2団体を含む3団体が新規加入します。また、事業を廃止する団体もある一方で、団体の運営基盤強化を目的に法人格を取得した団体や、団体としての社会的役割や信頼性を高め、活動をより効果的に行うために法人格を移行した団体もあります。

〔令和7年4月1日入会〕（入会申込時の会員数）

東京都 西東京市中小企業勤労者共済会 150事業所、500名
 神奈川県 横須賀商工会議所 三浦半島中小企業勤労者福祉サービスセンター
 158事業所、1,523名
 大阪府 大阪狭山市勤労者互助会 15事業所、226名

[令和7年4月1日任意団体から一般社団移行] (令和6年4月の団体概要調査に基づく会員数)

東京都 (一社) 稲城市中小企業勤労者福祉サービスセンター

202事業所、778名

[令和7年4月1日一般財団から公益財団移行] (令和6年4月の団体概要調査に基づく会員数)

岐阜県 (公財) 大垣勤労者福祉サービスセンター 827事業所、6,312名

② 賛助会員

新規会員の加入はありませんでした。

(2) 関連団体との関係強化

労働関係団体等との定例会議や直接訪問等を通じて、連携を深めました

[中央労福協]

4月 政策制度委員会 (オンライン会議)、幹事会 (オンライン会議)、中央メーデー

6月 事業団体メーデー実行委員会 (ハイブリッド会議)

7月 事業団体・地方労福協合同会議 (対面会議)、幹事会 (オンライン会議)

11月 加盟団体代表者会議 (オンライン会議)

1月 幹事会 (オンライン会議)

2月 事業団体会議 (対面会議)

3月 メーデー委員会実行委員会 (対面会議)、政策制度委員会 (オンライン会議)

[全労済協会]

5月 定例会議 (オンライン会議)、理事会 (ハイブリッド理事会)

6月 講演「自治体消滅時代」

7月 情報交換会 (対面会議)

8月 理事会 (ハイブリッド理事会)

10月 情報交換会 (対面会議)

2月 情報交換会 (オンライン会議)

[企業福祉・共済総合研究所]

5月 理事会 (対面理事会)

6月 定時総会 (対面総会)

8月 情報交換会 (対面交換会)

10月 理事会 (対面理事会)

3月 理事会 (対面理事会)

[友愛共済協同組合]

5月 定例会 (対面会議)

6月 総会 (書面決議)

9月 定例会 (対面会議)

11月 定例会 (対面会議)

2月 定例会 (対面会議)

(3) 法制化等の取組み

〔政党 政策・制度要求〕 中央労福協と共に進める法整備について

- 5月21日 公明党 「2024年度 政策・制度要求」
- 5月23日 国民民主党 「2024年度 政策・制度要求」
- 5月23日 立憲民主党 「2024年度 政策・制度要求」
- 5月28日 社会民主党 「2024年度 政策・制度要求」

〔2024年度政策・制度要求～勤労者の福祉格差の是正、生活設計・保障への支援～〕 抜粋
中小企業勤労者の福利厚生促進に向けて、働き方改革、構造的な人手不足状況等を踏まえ改めて昭和63年通達の見直しを行い、国・自治体・事業主の役割・責務等を明確にした法整備を行うとともに、従業員の福利厚生に積極的な取り組みを行う事業主や、多様な働き方をする労働者等が福利厚生制度を利用できる様、財政面を支援する補助金ないし助成金を設ける。



中央労福協は5月21日、公明党に対して「2024年度中央労福協における政策・制度実現に関する申し入れ」を行った。公明党からは労働局長の佐藤英道衆議院議員、労働局次長の関水重一衆議院議員、福重隆造衆議院議員、里見隆治参議院議員、西崎勝参議院議員が出席した。



中央労福協は5月23日、国民民主党に対して「2024年度 中央労福協における政策・制度実現に関する申し入れ」を行った。国民民主党からは玉木雄一郎代表、樋岡安則副代表、伊藤孝憲組織委員長、浜口誠政務調査会長、西岡秀子政務調査会長代理、竹詰仁幹事長が出席した。



中央労福協は5月23日、立憲民主党に対して「2024年度 中央労福協における政策・制度実現に関する申し入れ」を行った。立憲民主党からは西村麗奈代表代行、近藤昭一衆議院議員、城井崇衆議院議員、松木けんこう参議院議員、小山原弘宗参議院議員、瀬原俊二衆議院議員、小沼巧参議院議員、古賀千穂参議院議員、岸真紀子参議院議員が出席した。



中央労福協は5月28日、社会民主党に対して「2024年度 中央労福協における政策・制度実現に関する申し入れ」を行った。社会民主党からは福島みずほ代表、久保ゆうこ参議院議員、服部良一幹事長が出席した。

〔政党要望〕 全福センターが独自に進める取組みについて

- 5月28日 自民党 「自由民主党各種団体協議会懇談会」
- 8月6日 自民党 「各種団体協議会実務者研修会」
- 11月13日 自民党 「予算・税制等に関する政策懇談会」
- 2月21日 自民党 神谷正幸労働部会副部会長と懇談

〔要望書〕 抜粋

共助の理念に基づき中小零細企業の福利厚生充実を目的とするサービスセンター事業に国による制度の意義・有効性の広報、都道府県による県内サービスセンターの設立および相互促進、及び自治体による設立促進・支援義務を明確にした法律の制定、並びに制度の普及・広報のための予算確保をお願いする。

4. 株式会社全福サポートサービス及び全国中小企業勤労者福祉共済会

(1) 株式会社全福サポートサービス

全国中小企業勤労者福祉共済会と連携した長期サポート体制の整備により、「全福ネットの保険」の継続を希望するSC退会者の受入れが28名となり、一定の成果をあげています。今後、更なる補償制度を充実させるため「個人賠償責任補償」の取扱いを開始します。

(2) 全国中小企業勤労者福祉共済会

SC未設置地域の解消を設立目的とした全国中小企業勤労者福祉共済会の事業内容を再構築し、本来の活動目的に加えて、自治体の財政事情などを理由にSC事業を廃止せざるを得ない団体（東久留米市勤労市民共済会）の会員受入れ先としての活動も開始しました。

| 会員区分 | 入会金 | 会費 | | 慶弔共済 (カタログギフト) | 全福センター メニュー | ※1 ウェルとも 倶楽部 | ※2 任意保険 任意共済 |
|------|-----|--------|--------------|-------------------|----------------|--------------------|--------------------|
| | | 上期 | 下期 | | | | |
| 一号会員 | 法人 | 500円/人 | 3,000円/人 | 3,000円/人 | ○ | ○ | ○ |
| 二号会員 | 法人 | 500円/人 | 年会費 1,200円/人 | | — | — | ○ |
| 三号会員 | 個人 | 500円/人 | 年会費 7,200円/人 | | ○ | ○ | ○ |
| 四号会員 | 個人 | 500円/人 | 年会費 1,500円/人 | | — | — | ○ |

※1 (株)リロクラブと共同開発した福利厚生メニュー（全国20万メニュー）

※2 「全福ネットの保険」「全福ネットあんしん労災」「ウェルとも生命共済」など

5. 管理運営

健全な組織運営を確保するため、監事監査や理事会などによる内部管理を徹底（コーポレートガバナンス）し、法令や規範の遵守に努めて業務を遂行しました。

(1) 監事監査、理事会、定時総会

① 監事監査

理事の職務執行、法人の業務、および財産状況について監査を受けました。

日時 令和6年4月23日（火）13時30分～15時30分

場所 全福センター会議室

出席 監事2名

内容 令和5年度決算、事業監査

② 理事会

対面参加者およびオンライン参加者が双方で意見表明できる環境を整えて実施しました。

[第一回理事会]

日時 令和6年5月7日（火）13時28分～14時

場所 オンライン理事会（全福センター会議室サテライト設置）

出席 理事11名、監事2名

議事 議案第1号 令和5年度決算及び監査報告

議案第2号 役員選任案

議案第3号 令和6年度定時総会議（案）

報告1 令和5年度事業報告

〔第二回理事会〕

| | |
|-----|--|
| 日 時 | 令和6年10月22日（火）13時32分～14時8分 |
| 場 所 | オンライン理事会（全福センター会議室サテライト設置） |
| 出 席 | 理事14名、監事2名 |
| 議 事 | 報告1 令和6年度上期事業報告 報告2 令和6年度上期決算報告 報告3 新規加入団体報告 |

〔第三回理事会〕

| | |
|-----|--|
| 日 時 | 令和7年3月18日（火）13時30分～14時46分 |
| 場 所 | ハイブリッド理事会（全福センター会議室） |
| 出 席 | 理事15名（内オンライン9名）、監事2名（内オンライン1名） |
| 議 事 | 議事第1号 令和7年度事業計画（案） 議事第2号 令和7年度予算（案） 議事第3号 令和7年度定時総会 議事第4号 重要な使用人の選任 議案第5号 入会申込み団体の承認 報告1 令和6年度事業報告（見込み） 報告2 令和6年度決算（見込み） |

③ 定時総会

出席できない会員にはライブ配信を通じて情報を開示し、会議の透明性を確保しました。

| | |
|-----|---|
| 日 時 | 令和6年6月11日（火）13時30分～14時52分 |
| 場 所 | 東京グランドホテル3階「桜の間」 |
| 出 席 | 204団体（議決権行使団体含む） |
| 議 事 | 議案第1号 令和5年度決算及び監査報告 議案第2号 役員選任（案） 報告1 令和5年度事業報告 報告2 令和6年度事業計画 報告3 令和6年度予算 報告4 新規加入団体報告 |

(2) コンプライアンス

税制改正の法的要件に対応しました。

| | |
|--------------------------|---------|
| 適格請求書発行事業者としてインボイス制度対応 | 令和5年10月 |
| 電子取引情報の保存義務化などの電子帳簿保存法対応 | 令和6年1月 |

(3) 内部体制

組織が将来にわたって競争力を維持するためには、世代交代は不可欠なプロセスです。後継者には、組織の核となる価値観やミッションを引き継ぐと同時に、新しい価値観や最新の技術、イノベーションを組織に取り入れることを求めて、引継ぎを開始しました。

これにより、古い枠組みにとらわれない革新的な解決策を生み出すことを期待しています。

実務面では、業務のデジタルトランスフォーメーションを推進し、第一弾として請求書などのWEB配信（N I コンサルティング社）を開始し、業務の効率化と郵便コストの削減に取り組みました。さらに、第二弾としてワークフローの導入準備を開始し、情報伝達や共有の容易さ、検索などの操作性の向上、閲覧制限によるセキュリティ強化といったベネフィットだけでなく、紙文書の廃止によるペーパーレス化を目指しています。